

教育 子午線

Kyoiku-Shigosen

February, 2016
vol.40



国立大学法人
兵庫教育大学

<担任の先生はなぜ迷っているのか？
みんなが担任だったらどうするか？>



◎教育最前線

兵教大のFD活動 —授業は誰のものかを考える—

◎研究レポート

異なる水準への適用を可能にする
「知識の有機的関連づけ」に関する
教授学習心理学的研究

◎ワタシのイチオシ

◎うれしの掲示板

現

職教員が大学院生として多く学ぶ大学。これは、全国にある教員養成系大

学生の参画を得て行う、教育の質保証をめざすあらゆる取組のことである。」

要だと考えたのです。「学生参画」を具現化するためには、学生と教職員がFDについて公

存じの通り、授業は教員の努力だけでは良いものになりませ

学の中でも、兵庫教育大学が持つ大きな特徴でしょう。現職教

本学のFDの定義には「教職協働」と「学生参画」という

式に議論する場が必要になります。そこで、「学生・教職員

生の高い参加意識があつて初めて良くなるのです。この考えを

員は教えることを仕事とし、かつ大学院在籍中は学ぶことを

二つのポイントが含まれています。このうち「教職協働」は、

FD活動交流会」という組織をつくることにしました。他大

もとに、ベストティーチャーという概念を疑うことにしまし

も仕事とする、教えと学びの専門家です。もちろん、ストレー

FDなどを含む高等教育に関する研究者が、今後のFDの方向性として重視するものと一

学にはない独自性の高い組織です。後述するベストクラスは、

た。では、優れた授業とはどのような授業なのか。そして、授

ト院生も、学部生も、多くは教職を目指して学んでいます。そ

向性として重視するものと一致しています。一方、「学生参画」は、先に述べたように、教員

この組織における議論の結果生まれたものです。

業は誰のものなのか。それを学生と教職員が一緒になつて考え

のような本学におけるFDはどう在るべきか。FD推進委員

養成系大学としての本学の特徴をよく表しています。この考

ます。それは、①学生による授業評価と評価方法の改善、②ベ

ています。ここで、「考えています」と現在進行形にしたのには

会では、それを正面から考えて、本学のFDを次のように定義

え方は、私たちの中に「授業は誰のものか」という問いが現れ

活動を柱にしてFDを行っています。それが、①学生による授

意味があります。ベストクラス

することにしました。

たことと大きく関連しています。FDは教育の質保証に関わ

業評価と評価方法の改善、②ベストクラスの選定・公表、③ア

クティブラーニング研究会の実施、④授業公開です(図を参照)。

「本学におけるFDとは、本学のミッション及びビジョンを

す。FDは教育の質保証に関わる取り組みですから、具体的に

は授業やカリキュラムの改善が中核になります。その時に、こ

他の大学には見られない兵科大独自の考え方は、皆さんご

実現するために、大学院・学部におけるカリキュラムや授業に

は授業やカリキュラムの改善が中核になります。その時に、こ

他の大学には見られない兵科大独自の考え方は、皆さんご

他の大学には見られない兵科大独自の考え方は、皆さんご

して、教員と事務職員が協働し、

の問いを念頭に置くことが重

大独自の考え方は、皆さんご

大独自の考え方は、皆さんご



学長特別補佐[教育支援(FD)]
FD推進委員会委員長
授業実践開発コース教授
認識形成系教育コース(社会系教育分野)教授

よし みず ひろ や
吉水裕也



FD推進委員会副委員長
生徒指導実践開発コース准教授

やま なか かず ひで
山中一英

教育最前線

兵教大のFD活動

—授業は誰のものかを考える—

FDとはファカルティ・ディベロップメントの略で、教育の質保証を目指す取り組みのことです。兵庫教育大学では「教職協働」「学生参画」を基本にFDを進めています。「授業は誰のものか」という問いを学生と教職員が共有・議論し、今年度初めて「ベストティーチャー」でも「賞」でもない、「ベストクラス」を選定することにしました。

は、優れた授業のモデルや規準を決めて、それに当てはめて選ぶものではありません。授業にはそれぞれ異なった意図やねらいがあるはずです。それを一つの規準で評価することは授業の画一化を招くことにもなりかねません。優れた授業とはどのようなものかという問いを失った瞬間に、優れた授業の多様性が失われる危険性があるのです。そこで賞という概念がベストクラスになじまないのではないかという考えに至ったのです。これが「ベストティーチャー」でも「賞」でもない、「ベストクラス」という概念です。このような考え方で、今年度は平成26年度のベストクラスを選定し、公表しました。

前期末および後期末に全ての授業で授業評価を行っています。評価結果は学期ごとにウェブページ公開(学内限定)等によってフィードバックされます。



◎授業評価と評価方法改善



◎授業公開

FD推進委員会とFD活動交流会

教職員と学生が直接対話をしながら、FD活動の推進を検討するのが、FD交流会です。そのほか、学内の優れた教育活動を掘り起こしています(FDミシュラン)。



◎アクティブ・ラーニング研究会



◎ベストクラスの選定・公表

教員相互の授業研究の場として、教員間での日常的な授業公開を行っています。

優れた授業とはどのような授業なのか。それを教職員と学生が一緒になって考えています。

ベストティーチャーではなく、授業はその参加者全員によってつくられるという考えのもと、ベストクラスを選定し公表します。

授業研究のために、アクティブ・ラーニング研究会を行っています。公開授業と授業研究会を学生参画のもとで行っています。

【図】兵庫教育大学におけるFD推進活動への取り組み

ベストクラス 選定までの道のり

優

優れた授業は、教員だけではなく参加する全ての構成員の高い意識があつて初めて成立する。そして、優れた授業にも多様性がある。平成25年度からベストクラスという概念の構築に向けて取り組む中で、これら二つのことが整理されてきました。

2年がかりで検討してきたものを、今回初めてかたちにすることに なります。本学のFDの定義に則つて、学生・教職員FD活動交流会

(教職協働、学生参画)が選定作業に当たりました。その結果、左の表のように12の授業科目を平成26年度ベストクラスに選定しています。

選定に当たって、学生による授業評価の自由記述を参考にしています。自由記述のうち肯定的で具体的な記述を吟味し、候補を選びました。候補になった授業の担当教員と受講生にインタビューして、授業のねらいの共有度や授業での工夫点等を伺い、それに基づいて選定理由

由書を作成しました。選定理由書の書きぶりはおのおの異なっています。それは前述の通り、あらかじめ規程を設定していないからです。なお、学生教職員FD活動交流会での議論の記録は、全て文字にして本学ホームページに学内限定で公開しています。

ベストクラスは、優れた授業科目の共有を目的としています。それぞれの授業科目の持ち味などを共有していただければ幸いです。

優れた授業は、教員だけではなく参加する全ての構成員の高い意識があつて初めて成立する。そして、優れた授業にも多様性がある。平成25年度からベストクラスという概念の構築に向けて取り組む中で、これら二つのことが整理されてきました。

2年がかりで検討してきたものを、今回初めてかたちにすることに なります。本学のFDの定義に則つて、学生・教職員FD活動交流会

(教職協働、学生参画)が選定作業に当たりました。その結果、左の表のように12の授業科目を平成26年度ベストクラスに選定しています。

選定に当たって、学生による授業評価の自由記述を参考にしています。自由記述のうち肯定的で具体的な記述を吟味し、候補を選びました。候補になった授業の担当教員と受講生にインタビューして、授業のねらいの共有度や授業での工夫点等を伺い、それに基づいて選定理由

由書を作成しました。選定理由書の書きぶりはおのおの異なっています。それは前述の通り、あらかじめ規程を設定していないからです。なお、学生教職員FD活動交流会での議論の記録は、全て文字にして本学ホームページに学内限定で公開しています。

ベストクラスは、優れた授業科目の共有を目的としています。それぞれの授業科目の持ち味などを共有していただければ幸いです。

【表】平成26年度ベストクラス選定結果一覧

課程	授業科目名	履修年次	科目区分
学部	社会の中の言語文化	1	教養科目群 社会課題探究科目
	美術科教育法I	3	専修専門科目群 専門教育科目(芸術系コース)
	生徒指導論(進路指導を含む。)	3	教職キャリア科目群 教職支援科目
	社会科教育法III	2,3	専修専門科目群 専門教育科目(社会系コース)
	体育・スポーツ文化論II	4	専修専門科目群 専門教育科目(生活・健康系コース)
	社会科教育法IV	2,3	専修専門科目群 専門教育科目(社会系コース)
大学院 (修士課程)	視覚生理・病理(昼間クラス)	1	専門科目 特別支援教育専攻(障害科学コース)/専門分野
	投映法演習(昼間・夜間クラス)	1	専門科目 人間発達教育専攻(臨床心理学コース)/専門分野
	英語教育コミュニケーション論(昼間クラス)	1	専門科目 教育内容・方法開発専攻(文化表現系教育コース、言語系教育分野)/教科教育分野
大学院 (専門職学位課程)	特色あるカリキュラムづくりの理論と実際A(昼間クラス)	1	共通基礎科目
	教職員職能開発と研修プログラムの開発(昼間クラス)	1	専門科目(学校経営コース)
	開かれた学校づくりの事例と実践演習(昼間クラス)	2	専門科目(学校経営コース)

学部

生徒指導論 (進路指導を含む。)



担当教員
生徒指導実践開発コース
新井肇教授(右)
古川雅文教授

授業の概要

学校における生徒指導・進路指導の諸課題を総合的に理解するとともに、ガイダンス、カウンセリングなど実践に役立てるための代表的な指導方法の理論と技法について学習する。生徒指導については、基礎的な理論や方法を先行研究や実践事例の分析を通じて理解することを目標とする。一方、キャリア教育については、その目的、内容、方法の基礎的理解を目標とする。

学びのポイント

◎2回目の授業で、「あなたが教員になったら私語をなくすためにどのように指導するか」という課題を取り上げ、教員の立場から考える機会を設ける

基本データ

科目区分 / 教職キャリア科目群
教職支援科目
履修年次 / 学部3年
受講者数 / 171人

受講生の声

生徒指導に対して多くの人が抱く「怖い先生」「怒られる」などのイメージが、この授業で大きく変わりました。約170人が受講する大規模な授業ですが、教員が一方的に講義するのではなく、学生が主体的に考え、話し合う機会が多くあります。事例検討では、教員が学生の意見に真摯に耳を傾け、たくさんコミュニケーションを取ってくださったことが印象に残っています。子どもたちのいじめ、自殺、暴力行為など、報道のたびに胸が痛むような事例に対し、「私が教員ならどうするだろう」「どうすべきだろう」と考えを巡らせることが、生徒指導の重要性を再認識することにつながりました。

また、資料は学生目線で作られており、とても分かりやすかったです。受講したのは実習経験の少ない3年時でしたが、具体的なデータが示され、視覚的に分かりやすい図表が多く取り入れられていたので、教育現場の現状をイメージしながら受講できました。それらの資料は受講後の今も、教員採用試験の勉強や教育実習の際などに活用しています。



よこやま いく
横山 郁さん
学校教育学部
学校教育系コース4年

◎多くの学生が抱く「自らの考えを表出したい」「他の学生とシェアしたい」という欲求をうまく満たすような授業展開となっている。

◎現場経験や教育行政との関わりの中で見聞きした、公式文書にはほとんど出てこない、裏話」が学生に喜ばれている。

◎カウンセリング的な姿勢に基づく学生とのコミュニケーションが授業の雰囲気良くしている。

◎事例検討を多く組み込んでいることに加えて、講義場面においても一方的な知識の伝達ではなく、学生に問い掛け考えたり話し合ったりする活動も多く組み込むことで、自覚的に授業に参加させるように促している。

◎私語に対する予防的指導を行っている。

大学院
(修士)

視覚生理・病理 (昼間クラス)



▼担当教員
障害科学コース
教授
しげのり しづま
芝田裕一教授

基本データ

科目区分 / 専門科目 特別支援教育専攻
(障害科学コース) / 専門分野
履修年次 / 修士課程 1年
受講者数 / 57人

授業の概要

授業目標は、弱視児・者(ロービジョン)の多様な見え方等に関して演習を主体として考察・検討し、弱視児・者指導の基礎を理解することである。視覚の構造、眼の機能、視覚検査、視機能異常、眼疾患等、視覚障害につながる視覚の生理・病理の基礎について視覚障害、および視覚障害児・者に関する事項を踏まえて学習する。

学びのポイント

◎専門用語が多く理解が困難な生理学・医学分野であることを考慮し、資料は厳選して配付され、初心者でも理解しやすいよう、平易な言葉で説明されている。学生による授業評価においても、

配付資料と説明の仕方に関する受講者の評価は非常に高かった。

◎受講者が当事者意識を持って理解を深められるよう、疑似障害体験演習が取り入れられている。インタビュウなどからも、体験を通じた学びの有効性が受講者にしっかりと伝わっていることがうかがえる。

◎担当教員は、受講者自身が気付きを持てるよう、授業中にも日常生活での具体的な内容を意図的に提供するよう心掛けている。

◎授業の意図を具現化するために、徹底した学習者理解と細やかなフィードバックにより着実に授業の質が高められている。そして、担当教員と受講者の両方によって、気付きや学びを大切にしたい学習の場がつけられている。

受講生の声

「視覚生理・病理」は、視覚障害の基礎知識の習得にとどまらず、受講者が視覚障害児・者と適切に関われるようになることを目指す授業でした。ほとんどの受講者がそれらの知識があまりない中で、授業はさまざまに工夫され、とても分かりやすかったです。例えば、専門用語が多くありましたが、テキストのほかに補足資料が配付されました。そして、分からないところがあればいつでも質問をしていいと伝えてもらっていたので、とても学びやすい環境でした。

また、視覚障害児・者のことをより理解できるように、アイマスクを付けて白杖を使用する疑似体験や、担当教員の実際のエピソードなど、講義だけではイメージしにくかったことを具体的に経験したり聞いたりすることで学びが深まったように感じます。

授業を受講してからは、「道が明れば見えやすいのに」「階段のコントラストがあれば良いのに」など、自分自身の生活に視覚障害児・者のことを置き換えて考えることが増えました。



やまぐち ゆうこ
山口裕子さん
修士課程
障害科学コース2年

大学院
(専門職)

教職員 機能開発と 研修 プログラムの 開発 (昼間クラス)



▼担当教員
学校経営コース
教授(右)
あさの りょういち
浅野良一教授(右)
いのう たかひろ
大野裕己准教授

基本データ

科目区分 / 専門科目
(学校経営コース)
履修年次 / 専門職学位課程 1年
受講者数 / 21人

授業の概要

教職員の育成に向けた各種の取り組みを組織マネジメントや人事管理の視点で整理し、体系的な職能成長のシステムの確立に必要な力量形成を目指す。教職員の職能開発を、学校内での育成と、一定期間職務を離れて専ら行う研修に整理し、前者に対して効果的な活動やシステムの設計運用後者に関して教育委員会などでの研修プログラムの企画・立案、実施、評価・改善について扱う。

学びのポイント

◎授業構造や目標を緻密に作成し、学生の評価に加え教員の自己評価により授業改善に努めている。また、理論と実践の結び付きが意識されている。

るため、理論を現実に結び付けるためにグループ演習などの実践を取り入れ、学生に自分なりの理論化を促す工夫をしている。さらに、リフレクシヨ

ンシートに基づいた参考資料を配るなど、分りやすく役立つ、その後の学修のきっかけとなる授業づくりをしている。

◎目的意識がはつきりしており、授業外でも講義に関連したフィールドワークに行くなど、受講者の参画度も高い。

◎実際に教員の研修プログラムを開発するグループ演習や、地方自治体の教員評価育成システムを改善する演習をすることで実践力がつく。

◎資料が豊富で具体的なデータや情報等が惜しまなく提供される。

受講生の声

本授業は、まさに「ディープ・アクティブラーニング」そのものです。まず、基礎知識としての理論を学び、その後4~6人のグループに分かれて課題に取り組みます。例えば、教員研修プログラム開発では、「小学校での初任者1ヶ月指導プラン」や「教育センターが実施する高校2年目教員への悉皆研修」などの課題をグループで検討します。院生の対話の中で、アイデアや新たな視点が生まれ、自分の経験や知識を超えた、工夫にあふれた研修プログラムが完成します。結果は必ず、パワーポイントを使ったプレゼンテーション等により全体での共有化が図られ、また、毎時の「授業のふりかえり」でも他者の省察や学びを共有できます。

授業では実践的で豊富な先進事例が示されますが、それらは先生方が研修や指導で実際に関与した際に入手されたものが多く、興味関心を持った学生がその教育委員会や学校を自主的に訪問するなど、その後の学生の行動化に結び付いていたこともこの授業の特徴です。



みやもと み え こ
宮本美枝子さん
専門職学位課程
学校経営コース2年



くろ いわ まさる
黒岩 督
授業実践開発コース教授



よし くに ひて と
吉國 秀人
教育コミュニケーションコース
准教授

●「理論と実践の融合」に関する共同研究活動とは、兵庫教育大学のミッションの一つである「教育実践学の推進」をより一層図り、その成果を国内外に発信し、学校現場や教育委員会のニーズに応えるため、平成23(2011)年度から「理論と実践の融合」に関する学際的な共同研究を教員から公募し展開しています。

異なる水準への適用を可能にする
「知識の有機的関連づけ」に関する教授学習心理学的研究
(平成25・26年度「理論と実践の融合」に関する共同研究活動に採択)

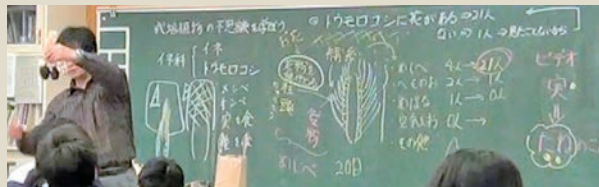
この研究は、小学校と中学校の3人の先生にも加わってもらい協働して進めたものです。すでに同じメンバーで「異なる単元どうしを関連づける授業の開発」を行ったので、そこでの成果と課題を踏まえ取り組みました。

「異なる単元どうしを関連づける授業の開発」では、小学校生活科と中学校理科での授業実践の開発に取り組みました。小学校では、「恐竜」と「動物の形とくらし」を関連付けた授業と、「お店と品物」「町探検・お店探検」と「電子紙芝居・マグロの旅」を関連付けた授業を開発しました。中学校では、「化学変化とイオン」

単元の学習後に生じやすいと考えられる「電池」と「電気分解」の間での「混乱」を取り上げ、これを解消するために「粒子」の視点(統合概念)によって小単元間の関連付けの促進を図った授業を開発しました。これらの授業実践から、学習者に一定程度の概念変容が認められるなど、関連付けの効果

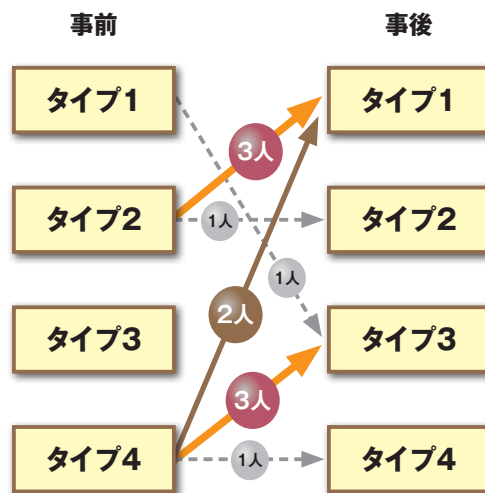
については一定の成果が得られました。同時に、そのメカニズムや対応する内的(心理的)過程について、関連付けのモデルをさらに精緻化していくことも残されま

した。こうした課題を踏まえ、新たに知識理解の3水準論[※]に基づいて、学習者内部に関連付けが成立するプロセスについて実証的な検討を加えました。知識理解の3水準論とは、知識理解の評価には、再生課題(知識の直接的適用)と転移課題(知識の操作的適用)に二分されるような水準だけでなく、推論過程そのものに対して知識を制御的に適用し得る



「栽培植物の不思議を学ぼう」でのトウモロコシの提示(教師が左手に持っている)

【図】誤前提課題の記述内容の変化【イネ編】
(タイプ分けに基づいた変化パターンとその頻度)



かどうかを測定する第3の水準が用意される必要があるとするものです。ここでは、この第3の水準を測定する課題として位置付けられた誤前提課題(学習材料の内容と矛盾する誤った前提に基づく質問に答えることを学習者に求める形式の課題)を用いた実践研究を紹介いたします。

小学5年生の総合的な学習の時間で「栽培植物の不思議を学ぼう…トウモロコシ編」と「同…イネ編」の授業を開発し、授業の前後に誤前提課題(4年生に「イネは花も咲かせないしタネもできない植物でしょう。じゃあどうやって子孫をふやすの?」と尋ねられたら、どのように答えますか?)を評価課題として組み込んだ授業実践を行いました。その記述内容を、タイプ1(イネも花が咲きタネがあることを指

摘)、タイプ2(タネがあることは指摘)、タイプ3(花が咲くことは指摘)、タイプ4(どちらも指摘なし)に区別し、学習者を対応付けて授業の前後での変化を見ました【図】。その結果、過半数の学習者は上位のタイプへ変化しており、授業後に知識の制御的適用と見なし得る発展的な推論過程が生起していることが認められました。このように小学生を対象とした授業場面においても、これまで大

学生を対象とした学習場面で用いられてきた誤前提課題によって、知識の制御的適用の様相を測定できる可能性があることが示されました。教室での教授学習過程を構想し実践を行っていくことを通して、さらにその詳細を明らかにしていくことが今後の課題です。

※工藤と志文(2008)「誤前提課題」を評価課題として用いた教授学習実験の概観と展望 教授学習心理学研究、4、40-48

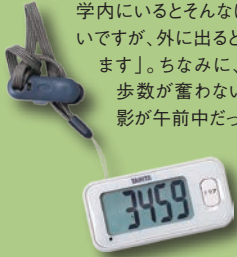
毎日のルーティン

常にデジタルカメラを持ち歩き、朝昼晩の食事や出掛けた場所、出会った人、気になるニュースなど心のおもむくままに撮影。翌朝、前日に撮った写真などをアルバムの台紙1枚にまとめるのがルーティンとなっている。それらの中から学生たちの写真を集めて製本し、ゼミアルバムとして修了時にプレゼントするのが恒例で、大変喜ばれているという。



健康のために

奥さんからプレゼントされた万歩計を毎日持ち歩いており、その日の歩数はもちろん手帳に記録する。「1日1万歩が目標です。学内にいるとそんなにいきませんが、外に出るとクリアします」。ちなみに、写真の歩数が奮わないのは撮影が午前中だったから。



学生からのプレゼント

学生から贈られた自身の似顔絵Tシャツを大切にしている。「指し手感覚」とは動機付け理論の一つ。「授業で紹介したら、印象に残ったようです」。これを着た人はイラストと同じポーズで撮影するのがお約束だとか。

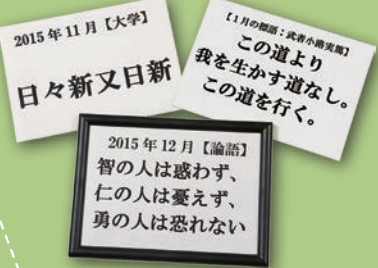


先生に質問!



自分自身をマネジメント

「毎日大切に、しかも前向きに充実させていくために」と、アルバム日記とともに実践しているのが、能率手帳で1日ごとに自身の頑張張り具合を3段階で評価すること、自らが心掛けたい行動として「今月の標語」を設けること。標語は額に入れ、研究室内の目に付く場所に掲げている。言葉のチョイスは論語や四字熟語などさまざま。



必携の視察グッズ

学校などを訪れる際は、カメラと手帳、名刺入れのほか、「礼儀として」名刺も必ず自分で用意。それらを入れる大きなかばんは時々買い替えるものの、ショルダーストラップだけは20年来愛用している。「彼」とは常に行動を共にしていて、仲間ですね。フィット感がいいんです」



あさの りょういち 浅野良一 教授

学校経営コース

昭和53(1978)年、東北大学教育学部卒業。民間企業でマーケティングなどを担当した後、61(1986)年に産業能率大学入職。経営管理研究所主任研究員などを経て平成19(2007)年から現職。学校組織マネジメント、人事管理、人材育成・職能開発を研究分野とし、加東市小中一貫教育研究会座長、兵庫県教育委員会外部評価委員をはじめ約20の学外審議会・委員会等で活動している。授業は学校経営論(学部)、学校組織マネジメントと学校評価(専門職学位課程)などを担当。

Q 先生の専門「学校経営」とは。

A 学校組織を効率的・効果的に動かして成果を上げる学問で、特に管理職(校長・教頭)に必要な分野です。大学院では、都道府県から派遣された現職教員を対象に講義・演習を行っています。院生は40歳を過ぎた将来の管理職候補者で、豊富な現場経験を生かすとともにそれらを再構築し、よりよい学校づくりに生かしてほしいと思います。

Q 教える上で特に気を付けていることは。

A 特色ある実践を行っている学校を年間50校ほど訪問することで、学校経営研究の参考にしています。貴重なフィールドワークなので、学生にも参加するように呼び掛けています。教職大学院で大切にしていることは、「理論と実践の融合」です。実践事例を一般化・汎用化することや、既存の理論を実践の場に生かすための指導に重点を置いています。

Q 県市町村などで多くの委員を務められていますね。

A 現場には最新の情報があり、成果を上げるヒントや課題解決の事例が豊富にあります。依頼があれば、各種委員を積極的に引き受けて、得られた知見を授業等で提供するようにしています。学生たちには、全国の先進的な情報や自らが生み出したノウハウを学校や県市町村に持ち帰り、学校教育全体に影響を及ぼす「スーパー管理職」になることを期待しています。

Q 先生に質問!



たまいりさ
玉井里沙さん
明石市役所職員

姫路市出身。学校教育学部芸術系コース(美術)を経て、大学院修士課程文化表現系教育コース芸術系教育分野(美術)に進学。在学中に円妙寺本堂の天井画の原画を手掛ける。平成26(2014)年に修了し、現在は明石市職員として勤務。



→ 繊細で彩度の高い色使いを意識しました

自分らしさを見つめて 人生をより鮮やかに

巡 鳥、龍。大学院生の時に描かせていただいた加東市社にある円妙寺の天井画は、私の生涯に残る大作となりました。当初はどう描いていいのか分からず悩みましたが、赤松俊彦住職の「玉井さんにしか描けない絵を描いてください」という言葉は肩の荷を軽くするだけでなく、「自分らしさとは何か」を考えることにもなりました。そこで気付いたのは、自分に厳しく妥協しない、でも楽しむことも忘れない自らの姿

でした。生き方を見つめ、自分しかできない、自分がすべきことを結果につなげたものが天井画の完成でしたが、これは誰にでも、どの分野にも言えると思います。経験は後に生き力となり、人生をより豊かなものにします。これから夢をかなえていく皆さんも、自分らしさを見つめてみてください。必ず積み重ねてきたものが味方し、自分だけの色で人生を鮮やかに描くことができます。思います。



こじまてつひろ
小島鉄弘さん
兵庫県教育委員会播磨東教育事務所
教育振興課指導主事兼社会教育主事

養父市出身。平成6(1994)年学校教育学部社会系専修コースを卒業後、現朝来市内の小学校に勤務。途中3年間、朝来市派遣社会教育主事として行政を経験し、今年度から現職。



→ 社会教育について市町の教育委員会の皆さんと情報交換

地域の教育力で 学校教育を豊かに

教 育委員会で、主に社会教育や社会スポーツ関係の事務を担当し、学校教育関係者以外のたくさんの方々とも関わり充実した毎日を送っています。この職に就いたきっかけは、社会教育主事として3年間、朝来市教育委員会に派遣されたことでした。地域住民の生涯学習や地域スポーツを担当し、学校では出会う機会のない人と話したり、できない体験をしたりしました。多様な人たちが多様な考えを持って活動している姿に接

し、地域住民としての自分自身の成長の必要性を感じました。「地域の教育力」の一員になるべく、地元の小学生バレーボールチームの指導を始めたのもこのためです。近年は、学校と家庭・地域の連携が重要になっています。「地域の教育力」は学校教育を豊かにしてくれます。在学生の皆さんには、地域行事に積極的に関わっていくことはもちろん、自分自身も「地域の教育力」を担える教員になってほしいと思います。

▶ 同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ

大学院同窓会会員と大学教員との共同研究の申請(募集要項を一部変更しています)

大学院修了生と大学教員とが共同で取り組む研究の中から、特に学校現場の課題解決や大学の実践的な教育研究の進展に役立つものを選び、研究経費の一部を補助します。平成27(2015)年度は12件を採択しました。なお、今回から募集要項を一部変更し、幅広く申請ができるようにしています。

◎申請締め切り 4月30日(土)まで

詳細はHyokyo-net▶都道府県連携推進本部をご確認ください

教育実践研究活動等に係る表彰者の推薦(実施要項を一部変更しています)

大学院同窓会では教育実践研究に顕著な成果を挙げた修了生を表彰しています。今年度も受賞にふさわしい修了生の推薦を受け付けています。今年8月の同窓会大阪大会(大阪市)で表彰式を行い、学長・同窓会長連名の表彰状を授与します。なお、今回から実施要項を一部変更し、幅広く推薦ができるようにしています。

◎推薦締め切り 3月31日(土)まで

陸

上競技の中距離走を専門とし、昨年8月に開

かれた全国教育系大学陸上競技大会の800メートルでは自己ベストを更新して初優勝を飾った。「当日は調子が良く、最初からずっと前でレースを引っ張りました。記録も順位も狙っていたので、かなりうれしかったです」と笑顔で振り返る。その4日後に出場した近畿地区国立大学体育大会でも優勝し、関西学生陸上競技対校選手権大会では目標としていた決勝進出を果たすなど、昨年は飛躍のシーズンとなった。

陸上を始めたのは、中学に入ってから。当時は400メートルが中心で、高校時代に顧問の勧めで中距離に転向し、部の方針から長距離の練習も重ねた。大学でも競技を続けるかどうか悩んだ末、同じ種目の先輩との出会いが決め手となり陸上競技部に入部。「先輩からはレース運びや練習方法など、多くの影響を受けました」。また、顧問の小田俊明准教授(行動開発系教育コース)の指摘でフォーム改善に取り組んだことも実を結び、入学以来、タイムは順調に伸び

ている。

800メートルをメインに位置付けているのは、中学時代に短距離で培ったスピードと高校時代に鍛えた持久力の両方を生かせるからだという。「速いスピードのまま、最後の最後まで競り合うところが魅力です。ラストの勝負ところで『負けたくない』と闘争心が湧くところが好きですね」

将来は、中学校で昔から好きだった数学を教えながら、陸上部の顧問として指導することを希望している。「陸上は中学で本格的に始める子が多く、ゼロの段階から教えて伸ばすことができると思うので。練習をさばると結果に顕著に表れる競技ですから、子どもたちには自分に負けず、何事も諦めないことの大切さを伝えたいです」と力を込める。

一方、選手としての来シーズンの目標は、日本学生陸上競技対校選手権大会出場。そのためには、今の自己ベストを1秒半ほど縮めて標準記録を突破する必要があるが、達成できると信じ、シーズンオフの現在も日々トレーニングを重ねている。

自己ベストを更新し
上のステージで
勝負したいです

キラリな人
SHINY PERSON

いわ きき りょう 岩崎 涼さん

学校教育学部
自然系コース2年

平成8(1996)年、小野市生まれ。26(2014)年に県立三木高校を卒業し、入学。所属する陸上競技部では1年の秋から中長距離部門のパート長を務め、昨年11月にはキャプテンに就任した。800メートルの自己ベストは1分53秒96。



第53回近畿地区国立大学体育大会の表彰式

～第12回(平成26年度)学生生活実態調査報告書から検証～

兵教生とアルバイト

学部生と大学院生で
就労率に大きな差

学部生は入学後「アルバイトをしている」「したことがある」を合わせると約95%となる。大学院生は約40%で、現職教員の割合が高いことから「できない」が約42%となっている。これらは2年前の前回調査とほぼ同様の傾向。なお、全国大学生生活協同組合連合会の第49回学生生活実態調査ではアルバイト就労率は約68%と報告されており、本学はそれと比べてやや高い。職種は学部、大学院ともに「サービス」「塾の講師」「家庭教師」が上位を占める。学部の前回調査では「家庭教師」「サービス」「塾の講師」の順であったが、今回は順位が入れ替わり、「サービス」が突出している。いずれにせよ、学生生活を脅かす「ブラックバイト」にはくれぐれも注意していただきたい。

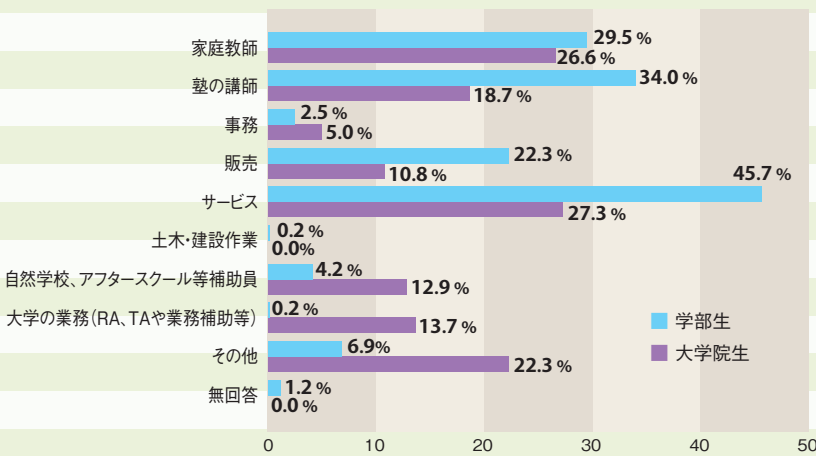
子どもたちの
成長を実感



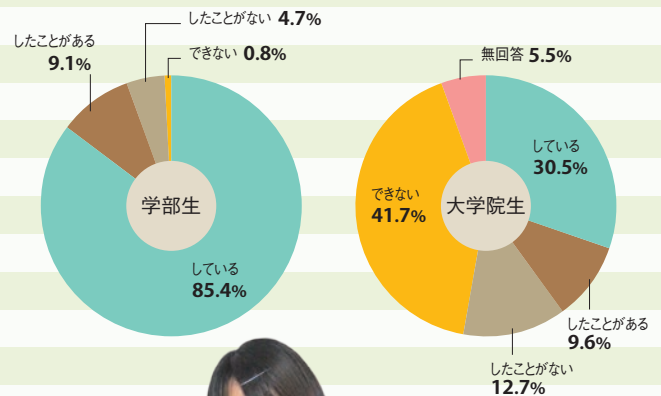
あ だ ち か い と
足立快斗さん
専門職学位課程
授業実践開発コース2年

小学校の教員を目指すに当たってプラスになればと、体操教室のコーチのアルバイトを始めました。主に跳び箱や鉄棒、マットなどの器械運動を幼児や小学生に指導しています。できることがどんどん増えていく子どもたちの成長を間近で見ることができ、このアルバイトでよかったと思っています。どのアルバイトも自分にとって良い経験になると思います。まだアルバイトをしていない人は、一度やってみてはいかがでしょうか!!

アルバイトの職種は何ですか
(2つまで回答可/アルバイトをしていると回答した者のみ)



本学に入学後アルバイトをしていますか
または、したことがありますか



身に付いたのは
仕事を見て学ぶ姿勢



あ お の な る み
青野成美さん
学校教育学部
学校教育系コース3年

指導経験が
将来のプラスに



や じ ま し ょ う た
矢嶋翔太さん
学校教育学部
自然系コース3年

塾の講師として個別にさまざまな学年の生徒を指導しています。授業の準備や後輩の指導、保護者宛てに授業報告のメール送信などの事務作業と勤務時間外労働も多く、他のバイトをしている友達と比べると正直、金銭的に割に合っていないと感じることもあります。しかし、生徒がテストでいい点数を取ったり入試に合格したりしたときは達成感があります。しんどいことは多いですが、これからも続けていこうと考えています。

部活の先輩の紹介で、1年生の夏ごろから和食店でアルバイトをしています。それまでアルバイトをしたことはなく分からないことばかりだったのですが、優しく仕事を教えてもらいました。ここでの経験を通して「仕事は見て学ぶ」と言われなくても自分で判断して動くことを学びました。今では私が後輩に仕事を教える立場になりましたが、全てを言って教えるのではなく、時には背中から示せる先輩になりたいと思っています。

MUSIC

ライブのBGMに お薦め

私の好きなアーティストはフジファブリックです。フジファブリックの歌詞には風景を邪魔しない憂いのようなものがあり、その心地よさに魅了されています。今回私が紹介したいのは、アルバム「TEENAGER」に入っている「ペダル」という曲です。歌詞が多すぎないところや、たくさんメロディーが重なって盛り上がりつつも間奏が大好きです。日によって速さや明るさが違って聴こえるので、そこも楽しんで聴いています。心にすーっと風が吹くような気持ちになれるので、ぜひ皆さんも聴いてみてください。ライブするときに聴くのをお薦めします！



フジファブリック
「TEENAGER」
発売元/ユニバーサルミュージック

ジェイン・オースティン 小山太一訳
「自負と偏見」
新潮文庫刊



ジェイン・オースティンの代表作で、1813年にイギリスで発行された本書を読みながら、魔法のように現代を離れ、素晴らしい世界に浸り、オースティンの文体に魅惑されてしまう。忘れられない雰囲気を感じられる作品です。

作者の文章表現に
魅了されます

BOOK

MOVIE

人生が詰まった 心温まる映画です

親友の死の知らせを聞いた映画監督、サルヴァトーレ。彼が故郷での少年時代を回想する物語です。イタリアの寒村にある映画館を舞台に、映画が好きな少年と映画技師の老人との友情の日々が描かれています。何十歳も離れた二人の男が、いたずらし合い、励まし合い、笑い合う、そんな場面の数々に、わくわくも、切なくもさせられます。そして訪れる別れと、再会。人生が詰まった心温まる映画です。エンニオ・モリコーネの紡ぎ出す音楽とシチリアの穏やかな町並みが織り成す情景も、見どころの一つです。

なかしま ゆう こ
中嶋祐子さん
学校教育学部
言語系コース1年



ほし けん すけ
星研介さん
専門職学位課程
小学校教員養成特別コース1年



「ニュー・シネマ・パラダイス 完全オリジナル版」
¥1,800(税抜)
発売元/アスミック・エース
販売元/株式会社KADOKAWA

富久錦株式会社 直営店「ふく蔵」
加西市三町1048 ☎0790-48-2005
年中無休(正月を除く)
営業時間はホームページ参照 <http://www.299.jp/>



ワタシのイチオシ

心に残る映画、つい口ずさむ音楽、
行きつけのスポットや思い出の一冊。
みんなにも薦めたい私のお気に入りを紹介。



フランシーニ・エリーザさん
(イタリア)
特別聴講学生



ひの あき こ
日野彰子さん
専門職学位課程
生徒指導実践開発コース2年

私のお薦めは、天保10(1839)年創業の富久錦(株)が直営する「ふく蔵」です。酒蔵では地元加西市で取れた良質のお米を使って純米酒を造っています。蔵を改装した太い梁の吹き抜けがすてきなお店です。お酒の試飲や購入ができ、2階のレストランではおいしい創作和食やスイーツを提供してもらえます。スイーツはテイクアウトもでき、特に手作りの酒まんじゅうやこうじアイスはお酒の風味が効いてお薦めです。遠くからのゲストや大切な人と一緒に行くのに最適なお薦めスポットです。

18世紀イギリス。風変わりな父が一人、心配性の母が一人、姉妹が五人。質問は一つ。憎しみが愛になることは、可能か。田園生活、都市のダンス、感情、目つき、魅力的なダーシーの高慢。才知にたけたエリザベスの偏見。常識か、それとも心か、どちらのままに振る舞うべきだろうか。

すてきな酒蔵の
レストラン

SPOT

募 集

学内ジャーナリスト(ボランティア) 学

教育子午線の誌面づくりを通して、教員として学級通信づくりや、学内掲示物作成等のスキルアップにつなげてみませんか。興味がある人は、大学広報室(下記メールアドレス)まで連絡してください。



- ◎対象 / 学部、修士課程、専門職学位課程に所属する
本学学生(現職可)
- ◎人数 / 3～5人程度
- ◎募集期間 / 随時
- ◎内容 / クラブ紹介のページ(次号41号から掲載予定)などの
誌面づくり、取材等への協力
- ☎ 大学広報室 ☐ office-koho@hyogo-u.ac.jp

催 し

教材文化資料館 フォーカス! 「道徳」 好評開催中 学 教 市

道徳の時間が、小学校は平成30年度、中学校は平成31年度から「特別の教科 道徳(道徳科)」として教科化されます。教科化に至る過程や道徳教育の歴史の変遷、文部科学省配布の教材「私たちの道徳」の内容、授業実践の在り方などを紹介。今後の道徳について語り合える企画となっています。(次回展は今号の裏表紙をご覧ください)

→兵庫県道徳副読本に登場する、道徳ゆかりの地をMAPで紹介



←「道徳」教育の変遷と使用された教科書の展示

- ◎開催期間 / 2月29日(日)まで
- ◎場所 / 教材文化資料館(附属図書館内)
- ◎開館時間 / 平日8:30～22:00、土曜・日曜・祝休日10:00～17:00
※附属図書館の開館時間に準じます
- ◎休館日 / 2月25日(木)、26日(金)
- ☎ 教材文化資料館 ☎ 0795-44-2362

IR・総合戦略企画室の設置

11月1日 事務局3階

本学は、IR(Institutional Research)活動や戦略的な大学運営の企画を行う組織として、昨年11月1日にIR・総合戦略企画室を設置しました。教師教育政策や社会情勢の変化など、学内外のさまざまな情報やデータの収集・分析等を行い、学長の意思決定や大学運営および教員養成に係る戦略的な企画を行うことを目的にしています。また、平成26(2014)年度に設置した教育改善推進室と連携を図り、教育の質向上に資する取り組みも行っていきます。



↑右から加治佐哲也学長、福田光完室長、上口孝之副室長

特別支援教育モデル研究開発室セミナー・リエゾン区 「先生のための貿易ゲーム」

12月9日 附属図書館ライブラリーホール

キャリアコンサルタントの柴田朋子さん(JUNO代表)を講師に迎え、学内外から35人が参加。参加者は5つのグループ(仮想の国)に分かれ仲間と協力したり他国と交渉したりしながら、どの国が最ももうけられるかを競う、貿易ゲームを行いました。ゲーム終了後にはグループごとにそれぞれのコミュニケーションについて振り返りました。参加者からは「ゲームと振り返りを通して自分のコミュニケーションスタイルに気付き、学校現場でどう生かすかを考える機会となった」などの意見が寄せられました。



【情報の対象】 学=学部生・大学院生 教=現職教員 市=一般市民

募集

公開講座の受講生 教市

教員養成大学の特色を生かした多彩なラインアップで、皆さんの学習意欲に応えます。

日=日時 所=場所 対=対象 定=定員 料=受講料 申=申込期間

語り合おう!教育カフェ
—学校の“あたりまえ”を問い直そう—

日 6月5日⑩13:00~16:00 所 神戸ハーバーランドキャンパス
対 市民 定 16人 料 無料(別途茶菓子代300円) 申 4月1日⑩
~5月23日⑩(先着)

子どもの就学を支える
—家庭からの学習サポート—

日 5月21日⑩13:30~15:00 所 加東キャンパス 対 保護者等
定 50人 料 無料 申 4月1日⑩~5月9日⑩(先着)

絵画制作

日 9月10日⑩、11日⑩、24日⑩、25日⑩(全4回)10:00~16:00
所 加東キャンパス(芸術棟) 対 市民 定 20人 料 8,800円
申 4月1日⑩~8月22日⑩(先着)

身につける小さなアートづくり

日 10月2日⑩、9日⑩(全2回)13:00~15:30
所 加東キャンパス(芸術棟) 対 市民(中学生以下は保護者同伴)
定 15人 料 5,150円 申 4月1日⑩~9月12日⑩(先着)



↓絵画制作



↑教育カフェ

⑩社会連携センター TEL 0795・44・2409、2053 FAX 0795・44・2320

8月~1月の主な出来事

田園会実践交流会

8月10日 神戸ハーバーランドキャンパス

田園会とは、授業実践開発コース(旧授業実践リーダーコース)の修了生で組織する同窓会のことです。旧交を温め、現場の実践に役立つ知見を得ることを目的として、毎年8月の第2土曜に開かれています。今年度は加古川市立加古川小学校の木船和幸さん、神戸市立夢野の丘小学校の望月千穂さん、高砂市教育委員会の横山善彦さんの3人が登壇し、現場の課題などについてそれぞれ発表。その後、米田豊教授が「兵庫教育大学のこれからと教職大学院」と題して講演を行いました。



東日本大震災「復興支援ボランティア」

9月20日~23日 宮城県南三陸町

東日本大震災が発生した平成23(2011)年から始まったボランティア活動。昨年は4日間の日程で学部生、大学院生17人が参加しました。作業初日は漁業支援活動として加工場で昆布結び作業に、翌日は農業支援活動としてネギ畑の草引きと石の除去作業に汗を流しました。バスでの移動中には南三陸町防災対策庁舎跡を車窓から見学し、震災の爪痕を目の当たりにしました。また、復興を担う地元の32店舗が軒を連ねる南三陸さんさん商店街も散策し、復興の様子を見学。被災地の現状を自身の目で見て、被災者の声に耳を傾け、空気を肌で感じ取る、貴重な体験となりました。





みや た か お り
宮田佳緒里

授業実践開発コース講師

家庭学習や習い事に
なかなか取り組まない子どもを、
自らその気にさせる方法を
教えてください。

家庭学習や習い事の内容がその子にとって楽しいこと、興味のあることなら、子どもは進んで取り組みます。しかし、例えば計算や漢字の練習などは、興味に駆られて取り組む状態になるのは難しいかもしれません。

興味を持ちにくい活動に進んで取り組ませる手立てを考える上でヒントになるのが、子どもがどのような意識を持って取り組むか、という点です。教員や親に命じられて取り組んでいると感じると、子どもはその活動に対して消極的になり、さらなるチャレンジを避けようとしています。一方、自分で決めて、自分の意志で取り組んでいると感じれば、自信を持って積極的に取り組もうとします。つまり、本人がその活動に「自律的に取り組んでいる」

と感じるかどうかのポイントになります。

自律性の感覚を持たせるのに有効な方法の一つは、子どもに選択の余地を与えることです。家庭学習なら、何時になったら始めるか、今日は何をするか、どこまでできれば終わりにするかを本人に決めさせます。いくつかの宿題があるなど、すでに内容が決まっているなら、どの順序で取り組むか、どこで休憩するかを決めさせるのもよいでしょう。自分の意志で選択したと感じながら取り組むことで、自律性の感覚が生まれます。そして、計画通りにでき

たところはたくさん褒め、うまくできなかったところはどうすればよいかを子どもと一緒に考えましょう。そのように自分で決めた計画を実行して達成する経験を積み重ねることで、子どもの自律性が育ちます。

学校の外には、学校内で出合うものとはまた違った魅力で子どもを引き付けるものがたくさんあります。そのような環境下で子どもを家庭学習や習い事に向かわせるのは難問ですが、自律性を育むチャンスと捉え、自律的に行動するための手助けをしてあげてください。



キャンパストピックス

CAMPUS TOPICS

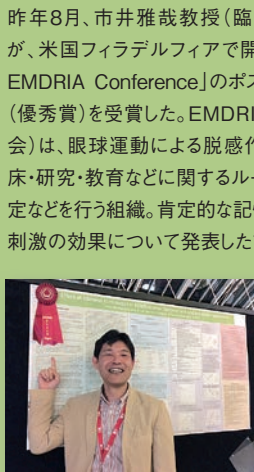
藤原教授が 日本学校教育相談学会賞を受賞



昨年8月、藤原忠雄教授(学校心理・発達健康教育コース)が、日本学校教育相談学会の「第27回総会・研究大会」で平成27年度「学会賞」を受賞。支部理事・事務局長や本部役員を務め

たこと、学会員の研修支援活動での大きな貢献、卓越した実践研究の取り組みなどが評価された。藤原教授は「栄えある賞を頂き、身の引き締まる思いです。研究・研修支援・学会運営において、さらに貢献したいと思います」と喜びを語った。

市井教授のポスター発表が 米国の学会で第2位に



昨年8月、市井雅哉教授(臨床心理学コース)が、米国フィラデルフィアで開催された「2015 EMDRIA Conference」のポスター発表で第2位(優秀賞)を受賞した。EMDRIA(EMDR国際協会)は、眼球運動による脱感作と再処理法の臨床・研究・教育などに関するルール策定と各種認定などを行う組織。肯定的な記憶に対する両側性刺激の効果について発表した市井教授は「受賞

は驚き。データ収集、分析を助けてくれた本学修了生の伊藤純君に感謝します」とコメントした。

草野教授が作曲家コンクールで 全部門中最高位に輝く



昨年10月、草野次郎教授(文化表現系教育コース)が東京国際芸術協会主催「第18回TIAA全日本作曲家コンクール」の重唱・合唱部門で1位該当者なしの2位(全部門中最高位)を受賞した。「歌ひとつ〜暗い心の夕ぐれに〜」(女声3部合唱)を作曲した草野教授は「今回、受賞記念としてこの作品が東京国際芸術協会から出版されました。作曲をする者として大変光栄に感じています」と語った。



「教員育成協議会」と 兵庫教育大学

昨年末に、中央教育審議会から「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」と題する答申が出されました。同答申は、教員が生涯学び続けるための仕組みや方策を、教員の養成、採用、研修の全体にわたって総合的に、また具体的に提言しています。

制度の新設や変更が数多く示されていますが、養成、採用、研修のこれまでの有り様を大きく変えるであろう画期的な制度が「教員育成協議会」(仮称)の創設です。教員育成協議会は都道府県と政令指定都市に必ず置かれます。主要メンバーは、採用と研修の責任者である教育委員会と、養成を担当し研修に協力している大学です。したがって、教育委員会と大学間の協議や連携を義務づけることで、教員の養成、採用、研修の連関性・一体性を高めることを意図した仕組みといえます。

教員育成協議会では、国の示した大綱的指針をもとに、教員がキャリアステージに応じて身につけるべき資質能力を明示した教員育成指標が作成され、教育委員会と大学によって共有されます。そして、教員育成指標を踏まえて、教育委員会は教員研修計画を策定します。また、大学の教職課程の編成方針(コアカリキュラム)も共同で策定されます。

兵庫教育大学は、教師教育のトップランナーとして、その実践と研究における全国拠点(ナショナルセンター)並びに地域拠点(リージョナルセンター)になるというビジョンを表明しています。地域拠点として、地元の兵庫県と神戸市に設置される教員育成協議会に参画することはいうまでもありません。

本学は、全国の現職教員の再教育拠点として、各地から数多くの現職教員を大学院(教職大学院、修士課程、博士課程)に受け入れています。修了生は、それぞれの地域で指導的立場で活躍しています。こうした全国拠点としての役割を果たすためには、入学者・修了者の多いところを中心に、全国の都道府県と政令市の教員育成協議会に関わる必要があります。

すでに学部と大学院の教員養成スタンダードを、本学は定めています。教職大学院の先駆的カリキュラムや、教育委員会と連携しての学校管理職養成や特別支援教育に関する研修プログラムは高く評価されています。これらの先導的取組を教員育成指標や研修計画、教職課程のコアカリキュラムの作成に活用することによって、教員育成協議会において主導的役割を果たすべきです。

10年以上前から、複数の都道府県と政令市の教育委員会をメンバーとする教師教育プログラム推進協議会を本学は設けており、各種の研修計画を教育委員会と協働で作成し、運営しています。また、学長がほぼ全ての都道府県教育委員会を毎年訪問して大学院の取組を説明していますので、下地はできていると思います。

教師教育のトップランナーとしての本学の今後の発展のために、そしてわが国の教師教育の発展のために、地元はもちろんのこと、設置者の教育委員会の意向にも依りますが、全国のできるだけ多くの教員育成協議会において本学は存在感を示すべきです。

(私の学長任期は今年度までであり、私の本欄担当は今号が最終回です。引き続き、兵庫教育大学へのご支援をよろしくお願いします。)

かじさつや
学長 加治佐哲也

INFORMATION

兵庫教育大学 からの お知らせ



大学院学校教育研究科 説明会

大学院学校教育研究科(修士課程、専門職学位課程)の教育課程や専攻・コースの概要などについて説明します。個別相談や修了生・在学生の体験談の時間も設けます。



◎開催日 ※13:30から(9月16日のみ19:00から)

加東キャンパス

5月14日④、10月1日④

※午前中に学内施設の見学会を実施

神戸ハーバーランドキャンパス

5月21日④、6月11日④、7月9日④、9月10日④、16日④、10月8日④、12月17日④、29年1月21日④、28日④

梅田スカイビル(大阪市北区)

6月25日④

AP品川アネックス(東京都港区)

5月28日④、9月17日④

福岡朝日ビル(福岡市博多区)

9月24日④

Ⓜ Ⓜ 大学院入学相談室

TEL 0795-44-2359 FAX 0795-44-2011

☒ office-kaikaku-t@hyogo-u.ac.jp

大学院入学相談室

大学院学校教育研究科(修士課程、専門職学位課程)への入学希望者を対象に電話、ファクス、メールで相談を受け付けます。

※平日のみ

Ⓜ Ⓜ 大学院入学相談室

TEL 0795-44-2359 FAX 0795-44-2011

☒ office-kaikaku-t@hyogo-u.ac.jp

教育実践学フォーラム

～学校教育の諸問題と可能性を求めて～

今年度のメインテーマは「高度情報化社会の子どもたち」。今回は子どもたちのネット依存の実態とその対応についての内容です。参加無料(要申し込み)。

◎日時 2月27日④14:30～16:00(受付開始14:00)

◎場所 大阪大学中之島センター5階講義室507

◎対象 研究者、大学院生、学校教員など
◎ゲストスピーカー 三原聡子さん(久里浜医療センター・主任臨床心理士)

◎申込方法 ファクスまたはメールで受け付け。標題を「2/27フォーラム申込み」とし、

氏名(ふりがな)、年齢、性別、職業、連絡先(ファクス番号またはメールアドレス)を明記してください。

Ⓜ Ⓜ 連合大学院事務室

TEL 0795-44-2068 FAX 0795-44-2269

☒ office-rendai-r@hyogo-u.ac.jp

兵庫教育大学美術展

学部生や大学院生、附属幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒らによる合同作品展。卒業制作も展示。入場無料。最終日には14:00からギャラリートークも。

◎日時 3月4日④～9日④10:00～18:00(最終日は16:00まで)

◎場所 サンバルギャラリー(神戸市中央区)

Ⓜ 芸術系コース美術分野(初田)

TEL FAX 0795-44-2252

☒ hatsuda@hyogo-u.ac.jp



吹奏楽部 第32回定期演奏会

吹奏楽部が日頃の練習の成果を披露。クラシックからステージドリルまで楽しい企画が盛

Ⓜ=問い合わせ先 Ⓜ=申し込み先

りだくさん。ぜひご来場ください。入場無料。

◎日時 3月13日④14:00～(開場13:30)

◎場所 三木市文化会館

Ⓜ 学生支援課

TEL 0795-44-2050 FAX 0795-44-2049

スクール・ パートナーシップ事業

学校教員の資質向上のための研修会や地域の生涯学習活動等の場に大学教員を派遣します。学校や研究グループで研修などの計画を立てる際は、ぜひ相談してください。(派遣の依頼方法)

①兵庫教育大学ホームページに記載している「講師派遣事業(スクール・パートナーシップ事業)」から各教員の題目を確認

②希望する内容が見つかれば担当教員と直接連絡を取り、日程や内容などを調整

③大学に「派遣依頼書」を送付

Ⓜ 社会連携センター

TEL 0795-44-2053、2409

☒ office-renkei-r@hyogo-u.ac.jp

平成28年度 前期展「ノート指導(仮)」

本企画展は、平成26年度後期展「めざせ!板書の達人」で取り上げた板書と密接に関連する、ノート指導をテーマに開催します。ノート指導の意義やコツ、ノートの達人などを紹介。さまざまなノートを楽しめるコーナーも設けます。

◎開催期間 4月1日④～8月31日④

◎場所 教材文化資料館(附属図書館内)

◎開館時間 平日8:30～22:00

土・日・祝休日10:00～17:00

※附属図書館の開館時間に準じます

Ⓜ 教材文化資料館 TEL 0795-44-2362

学部の教員就職率が全国第2位に “教員就職に強い兵教大”の伝統は今年も健在

文部科学省が1月29日に発表した「国立の教員養成大学・学部(教員養成課程)の平成27年3月卒業者の就職状況」において、兵教大の教員就職率は全国44大学中第2位となりました。教員就職者に保育士就職者を加えた就職率は86.8%、公務員や民間企業等を含めた全体の就職率は98%を超えます。兵教大では以下の取り組みを通して、学生の就職活動をバックアップしていきます。

- ▶4年間同一のクラス担当教員とゼミ指導教員による個別支援
- ▶1年次と3年次の合宿研修
- ▶キャリア開発指導員(元公立学校長)と教採合格者によるユニークな模擬面接
- ▶教採合格者による説明会(模擬授業、場面指導、報告会など)
- ▶新任教員による体験談、意見交換
- ▶現職教員の大学院生による講座
- ▶ラーニング・コモンズで学生間のピアサポートを支援



◎表紙

「アクティブ・ラーニング研究会」の一環として、昨年12月7日に教育子午線ホールで公開された「生徒指導論(進路指導を含む。)」の授業の風景。4ページで紹介した通り、新井肇教授からの実践を想定した問い掛けについて隣の席の人と話し合い、みんなの前で意見を発表するなど、学生たちが積極的に授業に参加する姿が見られました。

編集後記

★本号の教育最前線は、本学の授業づくりの一端を紹介させていただきました。授業は、「教員と学生が創り上げていくもの」というスタンスは、教員を養成する本学の使命を具現化する取り組みと考えております。このような授業を受けて現場に出た学生は必ず児童・生徒とともに、深い学びのある授業を創り上げていくものと信じています。(つ)

※バックナンバーは兵庫教育大学ホームページでご覧ください。

◎あなたの声を 聞かせてください

「教育子午線」では、読者の皆さまの声を生かした誌面づくりを目指しています。はがきかメールでご意見、ご感想を寄せていただいた方にオリジナルのボールペンまたは付箋紙を進呈します。

●あて先:〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

兵庫教育大学

大学広報室

TEL 0795-44-2431

FAX 0795-44-2009

☒ office-koho@hyogo-u.ac.jp

February, 2016
vol.40

教育
子午線
Kyoku-Shigosen

第40号 2016年2月発行
発行/国立大学法人
兵庫教育大学 大学広報室
http://www.hyogo-u.ac.jp

編集協力/㈱神戸新聞総合印刷

兵庫教育大学モバイルサイト



スマートフォン



携帯電話

この印刷物は再生紙を使用しています。